

鹿児島県農業で活用いただきたい 新品種・新技術

鹿児島県農業開発総合センター
平成26年10月

農業開発総合センターでは、本県の農業振興に必要な新たな品種や安心・安全で高品質・低コストな生産技術の開発などを行っています。

この資料では、当センターで開発した品種・技術等のうちから、野菜栽培農家の皆様には是非活用していただきたい成果を紹介します。

新品種の育成・選定

実エンドウ

早生でおいしい「まめこぞう」

園芸作物部



特性

- 早期多収で良食味
- 莢が大きく青実が綺麗

栽培ポイント

- ◆スーパーグリーンに比べて肥大が早いので、収穫遅れに注意



適応地域

無霜地帯:10月上まき 11~3月どり
準無霜地帯:10月下まき 3~4月どり

ニガウリ

雌花が多い「か交7号」

園芸作物部



左:7号 右:5号

特性

- 側枝除去時間3割省力
- 初期収量が多い
- 果実のこぶが丸い

栽培ポイント

- ◆雌花数が多いため着果過多にならないよう交配



適応地域

半促成作型で規模拡大を目指す生産者

桜島大根

揃い・品質が優れる「鹿児島5号」

園芸作物部



特性

- 根重が重く、根形の揃いが良い
- 空洞症・す入りが少ない

栽培ポイント

- ◆播種 9月 収穫 1月
- ◆播種粒数は 一穴5粒程度でよい
- ◆F1品種なので、自家採種はできない

適応地域

桜島地域

カボチャ

「ジェジェJ」の特性を活かし2月出荷が可能

園芸作物部



80日貯蔵 左:「えびす」
右:「ジェジェJ」

特性

- 80日間程度の長期貯蔵が可能
(貯蔵中の軟化や果皮の退色が少ない)
- つる長が短いため密植により40%増収

栽培・貯蔵のポイント

- ◆播種:8月下旬 収穫:11月下旬
- ◆貯蔵場所:10℃を長期間下回らず、暗所で風通しの良い場所



手前「ジェジェJ」


適応地域

本土抑制栽培地域

露地野菜類の新技术

キャベツ

年内～1月どりの機械移植適期幅を広くできる育苗技術 大隅支場



育苗方法と効果

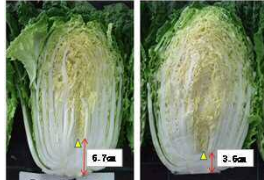
- ◆セルトレイ育苗が前提
- ◆市販の育苗培土を利用。播種後は、施肥せず水のみで育苗
- ◆定植予定日が遅れても大苗とならないので、40日苗でも機械移植が可能（通常25日が移植適期）
- ◆「T532」、「秋まき中早生」、「夢ごろも」、「夢舞台」などの品種で適用可

40日苗 左：慣行 右：水のみ

適応地域 県内キャベツ産地

ハクサイ

直まき・簡易被覆資材利用による4月下旬～5月上旬どり栽培技術 大隅支場



栽培ポイント

- ◆播種は、2月上旬～中旬
- ◆播種直後から4月上旬まで不織布の直がけで保温
- ◆播種粒数は3粒で間引き前提
- ◆「勝春」、「黄楽70」が適品種


収穫時の結球断面（左：勝春，右：黄楽70）
2/4播種，4/30収穫

★品質に影響すると立ちは見られない。

適応地域 志布志湾沿岸沿い及び南薩等の温暖地域（播種後30日間の日平均気温が10℃を上回る地域）

若ゴボウ

簡易被覆資材利用による2～5月どり連続生産技術 大隅支場



栽培ポイント


- ◆被覆は10月～4月中旬まで不織布の直がけで保温
- ◆作型

若ゴボウ	・9月中・下旬播種	2～3月収穫
長さ50cmで収穫	・10月上旬播種	4月収穫
軟らかく、香りが良いのが特徴	・12月上旬播種	5月収穫

適応地域 県本土平坦地

ダイコン

8月下旬は種における欠株・空洞症軽減技術 大隅支場




栽培ポイント

- ◆白黒マルチ利用が前提（地温抑制による欠株防止）
- ◆窒素の減肥と株間を狭めることで空洞症を大幅軽減
- ◆「夏の守」「夏のつかさ(快)」「秋美香」は空洞症の発生が少ない

適応地域 始良・溝辺地域（県内冷涼地域）

ホウレンソウの有機栽培技術

園芸作物部



栽培ポイント

- ◆播種後45～55日を目安に収穫
- ◆0.4mm目合いの防虫ネットを浮きかけし、害虫の侵入軽減を図る


◆適応品種

- スパイダー(秋まき品種)
徒長しにくく可販株率が高い べと病抵抗性がある
- パワーアップ(冬まき品種)
葉柄がしなやかで折れにくい べと病抵抗性がある

適応地域 有機栽培・志向農家

簡易平張施設

熊毛地域の栽培体系（ソラメ+オクラ） 熊毛支場
奄美地域の果菜類の有望品目 徳之島支場



熊毛地域

- そらまめ 収穫開始および収穫最盛期が早まる
- オクラ 生育が早まり、7月上旬までの収量が高まる 品種はガリバーが有望

奄美地域

- 秋作：ニガウリ、インゲン 春作：カボチャ、インゲン
- ◆ニガウリ、インゲンは傷、奇形果の発生数が減少し、商品収量が向上
- ◆カボチャは半立体仕立てによる密植効果で、商品収量が向上

【お問い合わせ】 農業開発総合センター園芸作物部(TEL 099-245-1125)
最寄りの支庁・地域振興局の普及担当課(農政普及課など)